

2022年2月20日時点の状況報告書

こちらは、英文記事「[Status report as at 20 February 2022](#)」（2022 年 5 月）の和訳です。

Gard では、今回初めて、昨会計年度に関して財務関連以外の項目の実績を含めた統合報告書を発表いたします。Gard の全活動を包括的に捉えることで、メンバーの皆さまや広く社会に創出している価値を測定・評価できるようになりました。

2022 年 2 月を期末とする保険年度は、財務・運営上のさまざまな困難から、海運業界にとって非常に厳しい 1 年となりました。当組合の役割は困難な時期に船主を支援することであり、今年度の報告書では、Gard が自らの事業規模、活動範囲、専門知識を生かして、そうした約束を確実に果たしている多くの領域に焦点を当てています

本報告書のハイライトは、海上保険版「ポセイドン原則」の共同発足の決定、平等・多様性・受容性に対する強固なコミットメント、Gard の再生可能エネルギーポートフォリオの継続的な拡大です。また、Gard では提供する付加価値として、全巨大クレームについて ESG 評価の提供を開始することを決定していますので、メンバーご自身の持続可能性や報告活動にぜひご活用ください。

Gard の創出した価値は、以下のとおり、グループの好調な財務成績に表れています。

- 保険料収入が初めて 10 億米ドルを達成
- 予定年間保険料（ETC）ベースの税引き後当期純利益は 3400 万米ドル
- ETC ベースのコンバインドレシオは 94%。
- 保険引受外損益は 500 万米ドルの損失
- 純資産は 12 億 7800 万米ドル（P&I メンバーの ETC に 5%の Owners'General Discount を適用し、1900 万米ドルを控除後）

本年度は Gard の分散型のモデルの強みが改めて証明される年となっています。Gard の広範なポートフォリオは、船主の皆さまにより安定した基盤を提供するための源泉であり、メンバーの皆さまが長期の計画を策定・決定する上で不可欠な安定性と一貫性をもたらしています。

2021 年は、大規模なプールクレームの影響で、P&I 相互保険にとって厳しい 1 年となりました。しかし、固定保険料ベースの P&I 保険、船体・エネルギー保険が好調だったことから、グループ全体では堅調な業績となりました。Gard はここ数年、変化するクレーム環境に合わせて相互 P&I 保険料を適切に設定するための措置を講じてきました。本年度は損失が発生したもの

の、クレーム環境が悪化しない限り、大きな修正や補正のない均衡点に向かっていると確信しています。私たちのこのような確信は、Standard & Poor's 社から直近で A+ の格付が付与されたこと、当グループに対するアウトルックが「ネガティブ」から「安定的」に変更されたことによって裏付けられています。

精算保険料 (Release Calls)

当組合の理事会および各子会社の理事会は、契約の解除または停止時の精算保険料率と精算保険料の徴収について、以下の手続きとリスク要因を考慮することを決定しました。

リスク要因

理事会は、精算保険料率の決定に際して、次の要因を考慮することとします。

- 保険料リスク、準備金リスク、市場リスク、その他の重大な諸リスクを踏まえて組合が算出した必要資本が、過去に公表済みの保険料の期待値水準を上回るリスク。
- 通常の状態においては、保険年度ごとの精算保険料率は原則として引き下げるという既存構造を維持する意向であること。

精算保険料 (Release calls)

2019 保険年度：	なし
2020 保険年度：	5%
2021 保険年度：	5%
2022 保険年度：	10%

終了していない保険年度

理事会は、グループのメンバーの終了していない年度の予定精算保険料に関する以下の決定を承認しました。

2019 保険年度：当年度は追加保険料の徴収なしに、2022年11月に終了する予定です。

2020 保険年度：当年度は追加保険料の徴収なしに、2023年11月に終了する予定です。

2021 保険年度：当年度は追加保険料の徴収なしに、2024年11月に終了する予定です。

ご質問がありましたら、[ガードジャパン株式会社](#)までお問い合わせください。

GARD AS



Rolf Thore Roppestad

CEO (最高経営責任者)

本情報は一般的な情報提供のみを目的としています。発行時において提供する情報の正確性および品質の保証には細心の注意を払っていますが、Gard は本情報に依拠することによって生じるいかなる種類の損失または損害に対して一切の責任を負いません。

本情報は日本のメンバー、クライアントおよびその他の利害関係者に対するサービスの一環として、ガードジャパン株式会社により英文から和文に翻訳されております。翻訳の正確性については十分な注意をしておりますが、翻訳された和文は参考上のものであり、すべての点において原文である英文の完全な翻訳であることを証するものではありません。したがって、ガードジャパン株式会社は、原文との内容の不一致については、一切責任を負いません。翻訳文についてご不明な点などありましたらガードジャパン株式会社までご連絡ください。